

(株)ヴィレッジホーム光末  
 広島県神石郡神石高原町  
 HP: <http://vhm.jp/info.html>

## 基本情報

- 高標高(500m)であるため秋田県の平坦部と同様な気象条件
- 土質は黒ボクグライ土、グライ台地土等
- 従事人数8名、臨時雇用は近隣市の福祉施設と連携
- 飼料用米の作付け開始: H27年度

品目	作付面積	平均区画
主食用米(移植)	15.6ha	10a
WCS用稲(移植)	6.9ha	10a
飼料用米(移植)	2.5ha	10a
牧草	3.2ha	10a
白ネギ	0.7ha	10a
水田放牧	0.5ha	10a

## 経営方針(重視・優先していること、こだわり等)

- 条件良好ほ場で「コシヒカリ」、不良ほ場で「こいもみじ」、WCS用稲、飼料用米を作付
- 「コシヒカリ」は食味重視とし、他の品目は多収を目指す
- 費用対効果を常に意識しながら、新技術や新資材を積極的に導入
- 地域を守るため積極的に農地集積を進め、規模拡大に応じて若い人材を雇用

## 稲作の施肥・防除におけるコスト低減の取組

- 育苗  
 一箱あたりの播種量増加と疎植との組合せによって、使用苗箱数を16箱/10a(H26)から12.7箱/10a(H27)に削減
- 肥料(飼料用米)  
 安価な速効性肥料(オール14)と穂肥としての肥効調節型肥料(LPS60)を独自にブレンドし、飼料用稲で肥料の原材料費を削減
- 農薬(主食用米)  
 いもち病に比較的強い「こいもみじ」(主食用)をいもち病常発ほ場に作付けし、防除回数を「コシヒカリ」作付け時の3分の1に削減
- 機械  
 ① 肥料、除草剤の3作業を田植え同時処理し省力化  
 ② 飼料用米は、極早生の専用品種「夢あおば」を用いて立毛乾燥を行い、乾燥コストを低減

## 導入効果

- 育苗・田植え  
 種苗費 ▲約6割  
 労働時間 ▲約7割  
 (広島県平均と比較した場合)
- 施肥(飼料用稲)  
 肥料費 ▲約6割  
 (広島県平均と比較した場合)
- 農薬(こいもみじ)  
 農薬費 ▲約7割  
 (コシヒカリのいもち病防除コストと比較した場合)
- 乾燥(飼料用米)  
 乾燥コスト ▲約6割  
 (成熟期収穫と比較した場合)

## 支援体制

- 県の指導機関、JAが基本的な支援や情報提供を実施
- 各種団体が提供する実証圃のための資金を活用して、新技術の実証試験を積極的に実施

## 課題・今後の目標

- 鶏ふん堆肥を速効性窒素とリン酸・加里代替として施用し、肥効調節型肥料(穂肥)と組み合わせることにより更なる施肥コストの低減の実現

密播した育苗箱 播種量240g/箱